

リーディングDXスクール事業【実践事例】

成田市立加良部小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業改善

令和6年度 加良部小学校 研究主題と仮説

研究主題	情報活用能力の育成 ～問題解決のための情報活用～
仮説	目的に応じて情報を活用するための視点を明確にする手立ての工夫や、児童が課題に応じて学習方法を選択できる場の工夫をすることで、情報活用能力を育成することができるだろう。
手立て	○一連の学習活動における情報活用場面の設定 ○情報の活用方法について視点の明確化 ○児童が見通しをもち主体的に取り組めるような単元・ゴールの選定 ○「個別最適な学習」と「協働的な学習」の実現 ○情報の処理や共有における効果的な情報機器の活用

「情報活用能力の育成」を研究主題とし、課題に応じて学習方法を選択できる場の工夫に取り組んだ。

千葉県教育委員会では、【見出す】【自分で取り組む】【広げ深める】【まとめあげる】という4つの学習過程を重視している。

【自分で取り組む】≡「個別最適な学習」

【広げ深める】≡「協働的な学び」

と捉え、授業研究に取り組んだ。

単元・授業
構成の
イメージ

学習計画の
作成

見出す

「個別最適な学び」と
「協働的な学び」

自分で取り組む

広げ深める

単元・学習
のゴール

まとめあげる

リーディングDXスクール事業【実践事例】

成田市立加良部小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業改善

「個別最適な学び」と「協働的な学び」は一方的なものではなく、学習内容や必要に応じて授業者自身が自由に選択できるものであるべきだということが実感できた。その実現のためには児童自身が選択できるような場作りがより一層重要となる。以下はその一例。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

自分で取り組む



広げ深める



< 2 年生活科 >
町探検で得た学びを写真から振り返り、文章にまとめている。



< 4 年総合 >
班での資料作成中に、別室に移動し個人作業に集中して取り組んでいる。



< 6 年家庭科 >
洗濯の仕方について話し合い、考えた方法で実際に洗濯している。



< 3 年図画工作科 >
コマ撮りを撮影する中で自然と友達同士での話し合いが生まれている。